

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 7 月 23 日 (2015.7.23)

【公開番号】特開 2013-250609 (P2013-250609A)
 【公開日】平成 25 年 12 月 12 日 (2013.12.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-067
 【出願番号】特願 2012-122905 (P2012-122905)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 1/00 (2006.01)
 B 4 1 J 29/38 (2006.01)
 G 0 6 F 3/12 (2006.01)
 B 4 1 J 29/46 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 1/00 3 7 0 D
 B 4 1 J 29/38 Z
 G 0 6 F 3/12 K
 G 0 6 F 3/12 B
 B 4 1 J 29/46 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 6 月 1 日 (2015.6.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数の記憶手段のそれぞれで特定のデータを記憶し、前記複数の記憶手段に記憶される前記特定のデータの整合性をチェックするチェック処理を実行する第 1 の起動モードと、前記チェック処理を実行しない第 2 の起動モードとを含む複数の起動モードの何れかで起動可能な情報処理装置であって、

前記複数の記憶手段のそれぞれから第 1 の所定のデータを読み出す第 1 の読出手段と、前記第 1 の読出手段により読み出された前記第 1 の所定のデータを保持する保持手段と

、前記情報処理装置が前記第 2 の起動モードで起動する場合に、複数の記憶手段のそれぞれから第 2 の所定のデータを読み出す第 2 の読出手段と、

前記保持手段により保持された前記第 1 の所定のデータと前記第 2 の読出手段により読み出された前記第 2 の所定のデータとが一致しない場合に、前記チェック処理を実行するよう制御する制御手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記第 1 の所定のデータ及び前記第 2 の所定のデータは、記憶手段を特定するための個体情報である、ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記第 1 の所定のデータ及び前記第 2 の所定のデータは、記憶手段のシリアルナンバーである、ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記複数の記憶手段のそれぞれで記憶される前記特定のデータは、セキュリティーに関する情報、又は、課金に関する情報、であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1

項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記保持手段により保持された前記第 1 の所定のデータと前記第 2 の読出手段により読み出された前記第 2 の所定のデータとが一致しない場合に、前記情報処理装置を第 1 の起動モードで起動する、ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記チェック処理を実行した結果として、前記複数の記憶手段のそれぞれに記憶された前記特定のデータが互いに一致した場合に、前記情報処理装置を使用可能とする、ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記チェック処理を実行した結果として、前記複数の記憶手段のそれぞれに記憶された前記特定のデータが互いに一致しなかった場合に、エラーを通知する、ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記第 1 の起動モードは、ブート処理を行う起動モードである、ことを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記第 2 の起動モードは、ブート処理を行わずに揮発性のメモリに記憶されるデータを使ってレジューム処理を行う起動モードであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記記憶手段は、不揮発性の記憶媒体である、ことを特徴とする請求項 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

画像を形成する画像形成手段を更に有する、ことを特徴とする請求項 1 乃至 10 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記制御手段は、前記保持手段により保持された前記第 1 の所定のデータと前記第 2 の読出手段により読み出された前記第 2 の所定のデータとが一致する場合に、前記チェック処理を実行しない、ことを特徴とする請求項 1 乃至 11 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記複数の記憶手段は、第 1 記憶手段、第 2 記憶手段及び第 3 記憶手段を含み、

前記制御手段は、前記チェック処理を実行した結果として、前記第 1 記憶手段と前記第 2 記憶手段とに記憶された前記特定のデータが互いに一致し、前記第 3 記憶手段に記憶されたデータが前記第 1 記憶手段及び前記第 2 記憶手段に記憶された前記特定のデータとは一致しない場合、前記第 1 記憶手段及び前記第 2 記憶手段に記憶された前記特定のデータを前記第 3 記憶手段に記憶する、ことを特徴とする請求項 1 乃至 11 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 14】

複数の記憶手段のそれぞれで特定のデータを記憶し、前記複数の記憶手段に記憶される前記特定のデータの整合性をチェックするチェック処理を実行する第 1 の起動モードと、前記チェック処理を実行しない第 2 の起動モードとを含む複数の起動モードの何れかで起動可能な情報処理装置の制御方法であって、

前記複数の記憶手段のそれぞれから第 1 の所定のデータを読み出す第 1 の読出工程と、前記第 1 の読出手段により読み出された前記第 1 の所定のデータを保持する保持工程と

、前記情報処理装置が前記第 2 の起動モードで起動する場合に、複数の記憶手段のそれぞれから第 2 の所定のデータを読み出す第 2 の読出工程と、

前記保持工程により保持された前記第１の所定のデータと前記第２の読出工程により読み出された前記第２の所定のデータとが一致しない場合に、前記チェック処理を実行するよう制御する制御工程と、を有することを特徴とする制御方法。

【請求項１５】

複数の記憶手段のそれぞれで特定のデータを記憶し、前記複数の記憶手段に記憶される前記特定のデータの整合性をチェックするチェック処理を実行する第１の起動モードと、前記チェック処理を実行しない第２の起動モードとを含む複数の起動モードの何れかで起動可能な情報処理装置を、

前記複数の記憶手段のそれぞれから所定のデータを読み出す第１の読出手段、

前記第１の読出手段により読み出された前記第１の所定のデータを保持する保持手段、

前記情報処理装置が前記第２の起動モードで起動する場合に、前記複数の記憶手段のそれぞれから第２の所定のデータを読み出す第２の読出手段、及び、

前記保持手段により保持された前記第１の所定のデータと前記第２の読出手段により読み出された前記第２の所定のデータとが一致しない場合に、前記チェック処理を実行するよう制御する制御手段、として機能させるためのプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明に係る情報処理装置は、複数の記憶手段のそれぞれで特定のデータを記憶し、前記複数の記憶手段に記憶される前記特定のデータの整合性をチェックするチェック処理を実行する第１の起動モードと、前記チェック処理を実行しない第２の起動モードとを含む複数の起動モードの何れかで起動可能な情報処理装置であって、前記複数の記憶手段のそれぞれから第１の所定のデータを読み出す第１の読出手段と、前記第１の読出手段により読み出された前記第１の所定のデータを保持する保持手段と、前記情報処理装置が前記第２の起動モードで起動する場合に、複数の記憶手段のそれぞれから第２の所定のデータを読み出す第２の読出手段と、前記保持手段により保持された前記第１の所定のデータと前記第２の読出手段により読み出された前記第２の所定のデータとが一致しない場合に、前記チェック処理を実行するよう制御する制御手段と、を有する。